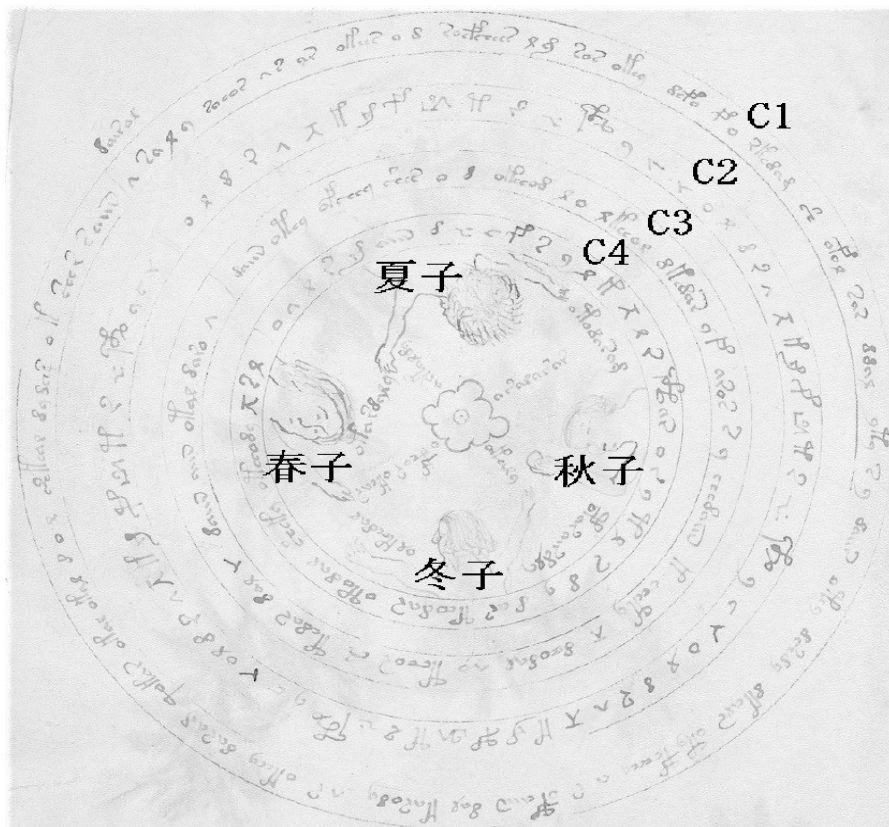


このページには月桂樹の育て方と育てる事による心の安寧について記載されています。他のページに比べ特異な内容です。まるでこの「手稿」を解読する手引きのようです。

サークル形文章はどこから読み始めるのかが難しいところです。そこでこのページの表記を解りやすくするために、下記のように記号を設定します。中心は月桂樹の小さな花です。



輪については外側から順番に C1 C2 C3 C4 と付けます。内側の女性については 春子・夏子・秋子・冬子 と名付けます。

C1 の外側左上に 1 語がありますが、ここから説明します。

*sair*ol

sairdata 日照時期

日の光が強い時期の事です。sair(日光) + data(時期)からできています。

さて、各サークルのスタートはどこかの問題ですが、翻訳した各単語を並べると左上ということが解りました。

まずは C3 の左上から単語翻訳します。発音と訳は次の通りです。

sand daftb dagaatb batk das aqttas tada

土と月桂樹の艶のある種を容器に入れた後、植え付けは纏まらない様に植え、小さくする。

umqttdata sqtsar bg ardak kb aatsand

水が少ない時期は隠れた集まりに土をやり霧吹きする。土は固く保ち土を加える。

q aatfb va sttdasaum unda faadar

少し芽花が出たら、そばに支柱をし、下に肥料をやる。

baftsar saum ne sand and dafaum sarda **un**

始めに土が集まり蓄ができる。次に土と豊かな芽で地面に集まり、小さくできる。(元へ戻る)

以上が C3 の内容です。

さて、この最後の un (元へ戻る) の行き先が問題になりますが、私は初期には同じ C3 の初めに戻るのかなと思っていたのですが、実は C1 に戻っていました。

それは本文中のサークル内にかすかに見える区切りが理解の助けとなりました。この区切りは、この文章を正しく理解された方が記載したものと思われまます。C1 が un から始まると記入されたのでしょう。

そして un とよく似た言葉の ne (次) は C2 の中にも 4 個あります。

では C1 の un に戻り翻訳を続けます。

un kaumba kdatdak unk ar aqttk das

(元へ戻る) 敷地をしっかりと強くし、下の土地の肥沃な方向へ植える。

kdatgaattk taz kdak daqtb stgda

しっかりと強く元気な間に木を自立させ立てる。

gda rqtsaz ba dagdata kar ssaum bfb

お祈りして期待して待つと、永い月日の後に集まって蓄が咲く。

kb sanr daftb sbasb sqatak dafb gaattb

続く日光で月桂樹は成長し手入れする。覆いの後に競争で元気になる。

unr dapand sdaum qardasb unr daqttb sarazi na daqar

そして端正に拡がり狭い土地でも成長する。

そして活発に蓄ができるが、専有地でないより専有を希望する。

daqata sdaum baqtata sbsak daq batr sand **un**

黒食(黒い変化)が拡がったり、避けずに食べられた(ちぎれた)時は、手当は同様に、個別に多く周りに土をかける。(元へ戻る)

次に C3 から C1 へ行った後はどこへ行くのでしょうか。そこで完了なのでしょうか。この疑問は、単なる翻訳だけではない、大きな発見に繋がりました。

解決のヒントは C3 と C1 との間に C2 があることでした。

d u m z r u n v a q z i p o w h k w L b a n e
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

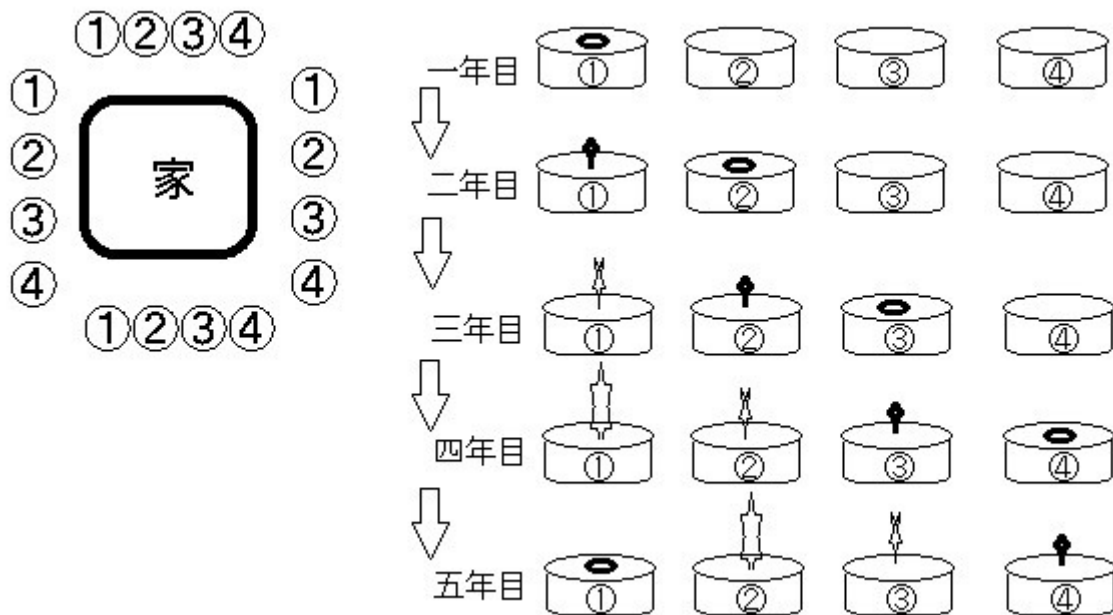
これは数詞かもしれませんが、これを文章として無理して考えると、
 「家で成って、周りの下や傍に小さくできる。
 外の力で花になり、後に移動し王様の為に大きくする。」
 となります。

16文字で完了しそれを4回繰り返します。17文字目はそれぞれ ne (次) になっており、一周してもまた繰り返します。

この C2 は何のためにあるのか思案しました。
 暫くして、月桂樹の種を植えても初年には花や種はできないことに気が付きました。
 しかしサークルの一周は一年間です。

そして次に考えついたのは C2 は同じ繰り返しを4回することを、表しているのではないか、そうすると、C1 C3 のどちらを繰り返すのだろうか、という事でした。

いろいろと考えた結果文意は次のようでした。
 言葉にすると長くなるので、図だけで示します。①②③④は容器です。



古代の人々にこんな知恵があったとは。そしてそれを表現できる文章を書いていたことに感激です。

そして、大変苦勞して間違わずに正確に写筆された古代の人達に感謝いたします。
 また偽書として葬ることなく丁寧に保存された関係の方々にも感謝いたします。
 本当にありがとうございました。

次はサークルの内部です。4人の女性の中に単語が8つありますので、次の様に番号を付けます。



- | | | |
|---|----------------|---------------|
| ① | dafarsaumb | 豊かな土地に集まる子供たち |
| ② | dafdasarazi | 豊かな出入りの土地が可能 |
| ③ | daparairsumb | 広い土地の場所に集まる人 |
| ④ | daumqttsaum | 塊は小さくとどまる |
| ⑤ | dapadar daqtar | 広い農地の専有地 |
| ⑥ | arqaumb | 土の調子で手入れ |
| ⑦ | arataarar | 土を食べて次々と土地に |
| ⑧ | daqatab | 黒くて大きい種 |

最後に、C4の解読です。スタート位置は他のサークルと同様です。しかしながら、単語の区切りがはっきりしませんので、誤訳があるかもしれません。

da untarzi and swmg kb taq
種を川の下に置きそして泳ぐように保ち置く。

va tarLar darb ftarsb sar ftdasar dafdasata
傍らで、タールを塗り豊かになった時の様に手入れする。
永くなく進行し豊かに進行する。数年で月桂樹の花となる。

batqb dafttdasb varta
豊かな地域でも若く育つのはいくらかの割合である。

特に最後の三文字が強調されていますが、あるいはその文章の意味が解る方が後日
そのようにしたのかもしれない。
秋子が手に持っているのは月桂樹の種です。